

動脈硬化症の最先端

静かに、しかし確実に進行し、心筋梗塞をはじめとする重篤な疾病を引き起こす。動脈硬化症がサイレントキラー（静かなる殺人者）と呼ばれる所以です。実に日本人の約4人に1人が動脈硬化性疾患で命を落とすといわれています。動脈硬化症は飽食の現代に典型的な病態と周知されていますが、実は現代よりもはるかに粗食な3,500年前の古代人にも存在していたことが考古学博物館に収蔵されたミイラへのCT検査によって明らかにされています。そのことから、動脈硬化症がいかに複雑な病態概念であるかがうかがい知れます。

動脈硬化症に関する研究は極めて広範であり、基礎から臨床にわたるさまざまな専門分野で展開されています。その複雑さをつまびらかにし、動脈硬化症の脅威に立ち向かっていくためには、多くの英知を結集しなければなりません。臨床検査医学もその一翼を担っています。各専門領域の橋渡しに、そして治療医学と予防医学の確立に臨床検査は不可欠です。

（山内 一由）